



# ちばの学童保育

2015年3月15日発行105号

本号の紙面	
千葉県学童保育研究会報告	1頁
情勢／ほいく誌紹介	2頁
学ほ誌感想／特別企画	3頁
全国指導員学校他案内	4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内  
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

## 第38回 千葉県学童保育研究集会

2015年2月22日(日)市川市勤労福祉センター

全体会 10:00~11:45 『学童保育指導員の仕事と役割』

講師 永松範子氏 (神奈川県横須賀市指導員)

分科会 13:00~15:30



午前の全体会は横須賀市の指導員・永松氏のパワフルなお話しでした。はじめに自身の学童保育の様子をまとめたDVDを上映しました。子どもたちが元気に「ただいま」と学童へ帰ってくる様子から日常の遊びの様子、特に子ども同士のトラブルなど集団の中で生活している子どもたちの様子がわかり、その子どもを見守っている指導員の姿も知ることができました。普段、子ども預けている親としては、子どもがどのように学童で生活しているのか見る機会はなく、改めて「生活の場」であることを感じました。上映後のお話しでも、子どもだけでなく時には親にも寄り添い一緒に子育てを支えてくれている様子は、「指導員の仕事と役割」としての指導員だけの話しだけでなく、保護者もまた聞くことができる内容で、また学童保育をあらためて考えさせられる講演でした。分科会では親子で楽しめる企画として「実技・けん玉」がありました。ただ技を覚えるのではなく、ゲームをしながらけん玉の特徴を知り、技術も覚えられるようになって、子どもだけでなく大人も楽しんでいました。その他、新制度の分科会で埼玉県の状態など埼玉県連協から報告もあり、千葉県の遅れを痛感させられました。



また宮城から防災の分科会にも多くの保護者が真剣に話を聞いていました。

## 学童保育をめぐる最近の動き



2015年度4月からの子ども・子育て支援新制度の本格施工を直前にして、3月10日に内閣府は「子ども・子育て新制度 自治体担当者向け説明会」を開催しました。ここで学童保育に関しては、各種事業の実施要綱、交付金要綱などが示されます。

現在、厚生労働省育成環境課は、学童保育に関わる交付金の仕組み、放課後児童健全育成事業実施要綱の作成作業を進めています。

2015年度予算案、補助単価案についても示されました。その予算は、575億円となり前年を191億増と大幅に増加しました。

また、放課後児童クラブ運営支援事業や放課後児童クラブ送迎支援事業、障害児5名以上受け入れている場合の支援員加配予算、19人以下の小規模クラブにおける職員複数配置の補助等の新規予算が組まれました。

それと別に放課後児童支援員等の研修関係で放課後児童支援員認定研修事業（1回当たり81万円）や放課後児童支援員等資質向上研修事業として各都道府県、指定都市、中核市、市町村とそれぞれ研修費として一か所当たり142万4千円の予算案が示されました。

これらの補助を各市町村が有効に活用して行くことが最重要課題と考え、各市町村へ働き掛けて行きましょう。

## 日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



2月号表紙

2月号特集『第49回全国学童保育研究集会in岩手』です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「第49回全戸行く学童保育研究集会in岩手」です。2014年10月11・12日に岩手県で開催され、各地から4037名の参加がありました。記念講演や特別講演の内容や分科会報告などから2日間の様子がわかります。そして記念すべき第50回は大阪で開催です。大阪ならではの、活気ある全国研を楽しみにしたいと思います。



# 「日本の学童ほいく」活動・感想

四街道市 栗山小こどもルーム

指導員 坂野ひとみ

3月号の特集、保護者と指導員を読ませていただき、あらためて学童保育という場の、深い意味を感じさせていただきました。四街道市では昔から、共同の子育ての場だという事を、父母の方たちに伝え、また、指導員間でも意識をし合いながら、まさしく今回の特集にあるような、父母と指導員の関係を目指してきたように思います。

1人目のお子さんを学童に入れているお母さんの不安な思いは、私自身も経験してきただけに、その不安が少しでもとれたらという思いで、毎年、新一年生の親御さんに接します。

ほっとされた表情が見られた時は、その何倍もうれしくなってしまいます。一人の人生の中では、ほんの一時の出会いでしかないかもしれませんが、楽しい思い出が一つでも二つでも残ってくれたら何よりだと思います。

## お弁当づくり 特別企画

1 こんな感じの、つぶれたおにぎりを握る(のりなし)



コツ：ラップでご飯を包み、お皿の上などで形を整えると簡単

2 まるい小さなおにぎり2こを握る(のりで包む)



3 おにぎりをお弁当箱に入れてから、海苔等で顔のパーツをキッチンばさみなどで切り、貼り付ける



4 できあがり



春休みや夏休み・・・1日保育の日に欠かせないお弁当作り。親としては、忙しい毎日の朝からのお弁当作りは、かなり大変な作業です。ちなみに私のつくるお弁当は「茶色」になりがちです。そして、ある時思いました。「おかずはこれ以上工夫できないので、少しご飯をいたずらしてみよう」。今ではもうお馴染み「キャラ弁」。当時は流行前でしたが、あるキャラクターを目の前に「白と黒のパンダならおにぎりと同じだから作れそうな気がする・・・」と思い、キャラクターを目の前に置いて作ってみました。そうです。おにぎりの変形！手間をかければ、どんな作品でも作れます。が！私たちには時間がないのです！そんな、忙しい中でもちょっと簡単に作れるパンダ弁当はお勧めです。おにぎりも大変よ！という時は、海苔で絵(?)を描くだけでも楽しくなりますよ。無理せず、たまにはお弁当作りを楽しんでみませんか？

(当たりはアイス引換券つき)



# みんなで作る指導員学校

## 保護者も参加の指導員学校

2015年6月28日(日) 東海大学付属望洋高等学校

### 第40回 全国学童保育指導員学校 南関東

全体講座：「聴く j」からはじまる子どもの理解と学童保育

講師 広木克之氏(神戸大学名誉教授)

講座：基礎講座・理論講座・実践講座・実技講座・特別講座

毎年、開催地域では事務作業の他、当日の道案内や会場設営などは開催地域の指導員、保護者が協力して行ないます。講座は午前中の全体講座「聴く」からはじまる子どもの理解と学童保育（講師 広木克行氏）と午後は指導員として基本な事項を学ぶ基礎講座・子どものことをより深くとらえるため専門に学ぶ理論講座・指導員の仕事を実践的に学ぶ実践講座・生活づくりの中で行われている遊び等について実技の形で学ぶ実技講座・学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考える特別講座の19講座があります。要員をしながらの受講参加も可能です。指導員だけでなく、保護者も講座を受講できる内容が多くあります。学童保育指導員学校は、指導員と保護者の協力で作りながら、学習・交流できる場です。

★お詫びと訂正 104号で全国学童保育指導員学校の会場名が間違えていました。正しくは「東海大学付属望洋高等学校」です。訂正とお詫びを申し上げます。

## 千葉県学童保育連絡協議会 定期総会

平成27年6月7日(日) 平成27年度定期総会を開催します。

船橋市中央公民館 第3・4集会室 12:30～

後日、各地域に案内をお送りしますので、よろしくお願い致します。